

幸南の風



令和4年6月23日 校長 伊藤 公一 第6号

水泳学習がはじまりました

水泳のシーズンがやってきました。早速、6月20日(月)、1年生が初めてプールに入りました。黄色い歓声をあげていました。1年生はエプロン先生に着替えのお手伝いしてもらい、入水中は見守られて学習が進められます。今年は何回入れるかな。なお、残念ではありますが、夏休みのプール開放が市全体で中止です。残念!!

【はしゃぐ1年生、気持ちよさそう】



都市はその周囲にある農村からの人口流入で成長してきました。しかし、今は農村の若年人口は底を突き、周囲から地方都市への人の供給が途絶えてしまいました。その結果、地方都市の人口減が始まったです。

いよいよ、参議院選挙が始まります。このような地方の問題をどのようにしていくのか。少子化・高齢化は日本の最大の課題だと思いますが。

教育実習

今、4週間の教育実習が行われています。東北学院大学と國學院大學の学生さんです。國學院大学の実習生さんは本校の卒業生です。実践授業が始まり、いよいよ来週には研究授業が行われ、先生方にも公開します。学校では、年に2回ほど、教育実習生を受け入れています。学級担任が指導教諭になり、その学生を指導し、学校全体に関わります。将来の教師になる人材育成をする義務が学校にはあるからです。指導教諭は、この実習期間、担任としての仕事をしながら、請け負うわけですので、大変な負担になります。しかし、学生さんの将来のことを考え、真摯に教育実習生に向き合い、時には悩みや不安なども聞き入れています。そして、子どもたちも教育実習生が、大好きです。なぜなら一緒に遊んでくれるからです。あと1週間、頑張ってください。

東北新幹線大宮ー盛岡間開業から40年

「にぎわい消えた古川駅前、静かな節目 東北新幹線大宮ー盛岡間開業あす40年」という見出しが河北新報朝刊の記事(6月22日付)に載っていた。東北新幹線開業40年かと思いながら、記事を読みました。内容は、6月22日の東北新幹線大宮ー盛岡間が1982年に開業してから23日で40年を迎える。宮城県大崎市の古川駅前商店街は、かつて40を超えた会員数が今は19に半減。玄関口のにぎわいは大型商業施設の撤退とともに去ったと。

平成の中頃から地方都市の衰退が著しくなりました。商店街はシャッター通りとなり、街の中心地にも空き家と空き地が目立つようになりました。現在、地方都市で起こっている現象は、将来スケールを変えて東京でも起こり得ることだと思います。つまり、昭和の頃、地方